学校番号	1301

令和８年度　芸術科

教科	美術	科目	素描	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・デッサンの基本的な道具や制作方法を知り、基本的なものの形の捉え方や描き方を学びます。
・クラスメイトと作品を見せ合い評価しあう中で、表現の幅を広げ、技術を高めます。

2　学習の到達目標

(1)　美術の幅広い活動の中の基礎としてデッサンを知り、絵画や彫刻作品の基礎となる観察力を高め表現の幅を広げる。
(2)　視覚表現を行う上で必要となる基礎的なデッサン力、造形力の基本を身につけることを目的とする。

【知識及び技能】
モチーフを深く観察し、効果的に描くための技術を身につけようとしている。
【思考力、判断力、表現力等】
構図を考え、モチーフの配置や表現方法を工夫しようとしている。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に活動に取り組み、生涯にわたり描く事を愛好する心情を育むとともに、感性を高め絵画の伝統と文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	形の比例、均衡や奥行、調子とらえ方について正しい技能を身につけている。	・対象のイメージや空間を把握し、工夫して表現しようとしている。 ・表現及び鑑賞に関する創造的な思考力・判断力・表現力等を伸ばしている。	・造形表現を追求しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ1	オリエンテーション	授業のきまり 内容説明 教材配布	a: 説明を受け止め、指示通り教材に記名し適切に収納できたか C: 授業のきまりや流れを積極的に理解するよう取り組めたか	ワーク 作品		ワーク 作品 授業態度
	クロッキー	クロッキーについて 様々な描画材料で表現する お互いにモデルをして描く	a:モデルのポーズや描画材料に合った表現方法を選択し、作品の効果を高めることができたか b:モデルの動きを効果的に表現することができたか c:積極的に取り組むことができたか	ワーク 作品	ワーク 作品	ワーク 作品 授業態度
ステージ2	基本形態デッサン	円柱についての説明 大きさや構図に気をつけて形を捉える 陰影や立体感を描写する 合評	a:大きさや構図に気をつけて描くことができたか b:モチーフに合った表現方法で、表現の効果を高めることができたか c:他者の作品に触れ、感想を述べることができたか c:積極的に取り組むことができたか	ワーク 作品	ワーク 作品	ワーク 作品 授業態度
	応用デッサン	基本で学んだことを活かしつつ身の周りのものを描く 立方体応用モチーフ 円柱応用モチーフ 合評	a:大きさや構図に気をつけて描くことができたか b:モチーフに合った表現方法で、表現の効果を高めることができたか c:他者の作品に触れ、感想を述べることができたか c:積極的に取り組むことができたか	ワーク 作品	ワーク 作品	ワーク 作品 授業態度

ステージ3	石膏デッサン	基本で学んだことを活かしつつ石膏デッサンを描く 石膏鉛筆デッサン 合評	a:大きさや構図に気をつけて描くことができたか b:モチーフに合った表現方法で、表現の効果を高めることができたか c:他者の作品に触れ、感想を述べることができたか c:積極的に取り組むことができたか	ワーク 作品	ワーク 作品	ワーク 作品 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度